



佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



代表質問

■七尾市戦略的復興プラン（案）について

具体的な事業や取り組みを伺う。

質

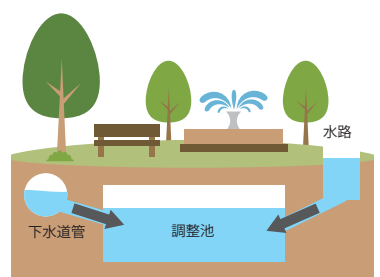
七尾市戦略的復興プラン（案）と第3期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、別々に策定すべきものと考えている。復興プランでは事業が漠然としており、例えば農業の安定経営では、農福連携などによる新たな農業の実現を目指すところがあるが、どのような取り組みで安定経営を目指すのか。また、5年間の年間平均出生数300人という目標設定があるが、令和5年は222人、令和6年は153人という状況だが、どのような事業、取組を行い、達成していくのか伺う。

答

復興プランは、復興への道筋として、総合戦略で目指してきた方向性と同じであり、復興に必要な財源として地方創生交付金が活用できるため、震災関連の部分も上乗せし、第3期総合戦略を包含したものである。農業の安定経営については、農福連携により、福祉関係者の方の協力で労働不足を補うという観点もある。また、出生数の目標は人口減少対策と関連すると考える。ほかの地域にない魅力を多くの方に知っていただく機会をつくり、七尾市に興味を持っていただき、住んでみたい、生活してみたい、子育てしてみたいという方たちをしっかりと増やしていく。この復興プランの事業一つ一つしっかりと実施することにより、目標を達成していきたい。



瀬戸 三代 議員
(無会派)



一般質問

■浸水被害軽減対策について

浜岡川の氾濫などの水害対策のため「調整池」の整備を！

質

浜岡川の氾濫と石和干拓排水路周辺の家、農地、道路の冠水が著しい。雨水の排水が自然にできず、ポンプで強制排水を行っているが、高潮や連続した豪雨では効果がなく、地震による地盤沈下も発生しており、今後の被害拡大が心配される。この対策として調整池の整備が最良と考えるが、調査費計上はできないか。見解を伺う。

答

近年の異常気象により、冠水、浸水被害の頻発化や激甚化、令和6年8月から七尾市公共下水道雨水管理総合計画策定業務を行っている。その中で旧七尾市街地と懸案の石崎町地区に、内水氾濫による浸水想定区域図を策定中である。令和7年度末には完成予定であり、浜岡川や石和干拓地域周辺の調査については、浸水想定区域図により対策の必要箇所を見極めた上で検討を行っていききたい。調整池も一つの方法であるが、この浸水想定区域図は、地震発生後の地盤高や気候変動を考慮した降雨量を用いて、浸水シミュレーションによる解析を行っており、この調査によってどのような方法がよいかを考えていきたい。